

集中セッション2

今日の概要

目的

Ph2,Ph3の自走度を向上すること

ゴール

こういった障壁が登場し、どう回避/対応するのかの想像が1例についていること

Work

オリエン

現在地の整理

Phase1 良いスタートラインを得る

24Days

Milestone1：環境の確認とパイプラインの仮疎通	E D C B A S	🕒 2025-07-05
Milestone2：要件と現状課題の明確化	E D C B A S	🕒 2025-07-23
Milestone3：問題設定にそったアルゴリズムの構築	E D C B A S	🕒 2025-07-23
Milestone4：プロジェクト計画策定とリスク洗い出し	E D C B A S	🕒 2025-07-25

Phase2 早めの手配と具体的な改善

14Days

Milestone1：技術選定と詳細な環境整備	🕒 2025-07-29
Milestone2：知識と判断プロセスの拡充と2次評価	🕒 2025-08-05
Milestone3：重要課題の抽出と改善案立案	🕒 2025-08-08

Phase3 全体を見直して終われる状態へ

13Days

Milestone1：ファーストリリース向け仕様の完成と確認	🕒 2025-08-13
Milestone2：詳細実装と詳細改善	🕒 2025-08-19
Milestone3：全体進捗とリスクの再評価、調整実施	🕒 2025-08-21

Phase4 具体的に終わらせる

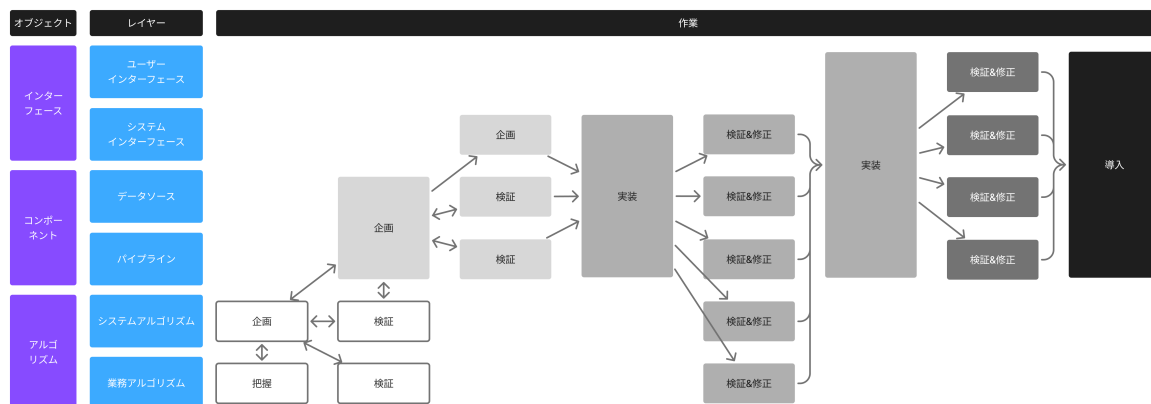
8Days

Milestone1：ステークホルダーへの共有と最終調整（skip）	🕒 2025-08-21
Milestone2：本番リリースと運用支援体制の確立	🕒 2025-08-26
Milestone3：仕様/ロジックの微調整、変数管理の仕上げ	🕒 2025-08-29

▼ 全体的なレイヤー構造

オブジェクト	レイヤー	内容や例
インターフェース	ユーザーインターフェース	• 操作画面、顧客向けの表示画面
	システムインターフェース	• AIとの通信や連携、関連システムとの連携
コンポーネント	データソース	• 知識データやドメイン知識/業務知識
	パイプライン	• インプットからアウトプットを行うまでの処理プロセス
アルゴリズム	システムアルゴリズム	• どう処理能力をどのように発揮するのか
	業務アルゴリズム	• なにをもって業務が進行し完了するのか

▼ 終わりまでの過程を開発物中心に整理した図



作業1：終わりまでの行程で想像が薄い部分を書き起こす

▼ 個人ワーク

abe

▼ パイプライン

-
- ▼ データソース
 - マニュアルやQA履歴データのもらい方（共有済み資料以外にあれば）
 - QA履歴データは何件存在するか
- ▼ システムインターフェース
 - 構築に使用するサービスは、AzureMachineLearningとAOAIとストレージアカウント？他に利用予定サービスは？
- ▼ ユーザーインターフェース
 - ユーザーインターフェースをどのように用意するか。
AzureMachineLearningがデフォルトで用意している画面か、別途UI作成の手順が発生するか
- ▼ その他
 - Phase2-Milestone1,2,3の完了条件は？

skong

- データソースからの企画と検証→取得して、追加でどのデータが必要なのかを確認する部分？
- システムインターフェースで"関連システムとの連携"とは、？
 - →api通信、azure連携
- 連携するazureのサービスは今後決める流れ？

クライアント側と関わるような動きについての想像やイメージはどう？

- データや履歴をもらう、ロジック・実態をインタビューする、方針として意思決定する、などが起きうる。
- ゴンさんはチャットでやりとりをしていく動きの経験はあるが経験が多いという状態ではない。

